



開催報告

医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を8月25日(金)に開催し、2023年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会委員並びに特例委員が、今年度の推薦数：医学賞23, 奨励賞33を審査した。

選考の結果、11月1日(水)の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は4名, 奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

<2023年度日本医師会医学賞>

- 神経回路の可視化技術の開発とその応用
岡部繁男 (東大・解剖学)
- 国民の健康・安全に資する睡眠面からの予防医学研究の推進
谷川 武 (順天堂大・公衆衛生学)
- 2型糖尿病の分子病態解明とそれに基づく治療法の開発
植木浩二郎 (国立国際医療研究セ・糖尿病代謝)
- 難治性眼疾患に対する基礎研究から新規再生医療の開発と実用化
西田幸二 (阪大・眼科学)

<2023年度日本医師会医学研究奨励賞>

- RNA修飾を基軸とした生体恒常性維持の解明
小川亜希子 (東北大加齢医学研究所・モドミクス医学)
- 内分泌因子の破綻に基づくヒトNASH進展機構の解明
武部貴則 (阪大・ゲノム生物学)
- 単一核メチローム, トランスクリプトーム解析による孤発性筋萎縮性側索硬化症の病態解明
小池佑佳 (新潟大脳研究所・分子神経疾患資源解析学)
- 機械学習の手法を用いた生活保護受給者への効果的な健康支援アルゴリズムの開発
西岡大輔 (大阪医薬大・公衆衛生学)
- 機械学習と因果推論を用いた次世代の個別化医療戦略「高ベネフィット・アプローチ」の確立
井上浩輔 (京大・社会疫学)
- 因果関係に迫る疫学理論の構築とデータ分析
鈴木越治 (岡山大・疫学)
- 先端ゲノム技術を用いた末梢性T細胞性リンパ腫における分子病態と臨床的意義の解明
片岡圭亮 (慶大・血液・内科学)

次ページへ続く

- 難治性拡張型心筋症に対する塩基編集を用いた新規治療基盤の構築
西山崇比古 (慶大・循環器内科学)
- サルコペニアをはじめとする糖尿病併存症の遺伝的背景の解明とバイオマーカーの探索
笹子敬洋 (東大・糖尿病・代謝内科学)
- 患者由来オルガノイドを用いた慢性腎臓病の病態解明
森雄太郎 (東医歯大・腎臓内科学)
- 関節リウマチの発症に関わるT細胞受容体の配列パターンの同定
石垣和慶 (理化学研究所生命医科学研究セ・ヒト免疫遺伝)
- 新規肝臓内免疫スコアの開発と消化器癌症例への臨床的応用
今岡祐輝 (広島大・消化器・移植外科学)
- 椎間板性疼痛に対する超高純度間葉系幹細胞とソフトバイオマテリアルを用いたリバーstransレーショナルアプローチ
山田勝久 (北大・脊椎脊髄外科学)
- 花粉症と口腔アレルギー症候群の克服を目指した新規治療戦略
亀倉隆太 (札医大・耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)
- 糖尿病網膜症の慢性化を遮断する治療法の開発
福嶋葉子 (阪大・眼科学)

イベント情報

第34回日本医学会公開フォーラム

テーマ：「女性医療を取り巻く課題」

会期：2023年11月25日(土) 13:00～17:05

会場：日本医師会館大講堂

組織委員：加藤 聖子 (日本産科婦人科学会理事長／九州大学大学院医学研究院生殖病態生理学分野教授)

水主川 純 (東京女子医科大学産婦人科学講座産科学分野教授・基幹分野長)

市民を対象とした公開フォーラムである。

参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページ参照。

第163回日本医学会シンポジウム

テーマ：「心と脳と体をつなぐ神経免疫」

会期：2023年12月16日(土) 13:00～17:00

会場：日本医師会館大講堂

組織委員：澤 明 (ジョンスホプキンス大学医学部, 公衆衛生学部, 附属病院センターディレクター・教授)

高柳 広 (東京大学大学院医学系研究科免疫学教授)

参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページ参照。